



ないとう きくえ  
内藤 喜久枝  
自由民主党田原市議団



## 市民が自主的に健康づくりに取り組める環境整備の進め方は

ウォーキングコース等身近なところで運動できる環境を整えている

### 健康づくりの推進について

**問** 市民が自主的に健康づくりに取り組める環境整備の進め方は。

**答** ウォーキングコースやサイクリングルートなどを整備し、身近なところで運動できる環境を整えている。

**問** 健康づくりに対する個人への意識付けについて、市の認識は。

**答** 健康への関心は個人差があるため、関心の度合いに合った施策の必要性を認識している。健康に対する関心が低い層の健康づくりへの動機付けを目的とした健康マイレージ事業の魅力向上や充実を図り、参加を促すことで、個人の意識付けを推進する。また、健康情報を発信する健康アンバサダーによる健康情報の展開や、食育推進協力店の拡充に協力することで、生活習慣の改善を意識できる機会を増やす。

**問** 健康づくりに関わる人材育成の具体的な進め方は。

**答** 食生活改善サポーター、健康づくりリーダーに対し、養成講座の開催や研修会参加への支援、また、活動に必要な学びの機会を提供している。

**問** 健康づくりリーダーとの協働や支援は。

**答** 健康づくりリーダーの養成や活動、普及啓発などへの支援、ラジオ体操指導者講習会などの研修機会の提供を行う。また、健康づくりリーダーとともに市民ニーズの把握や健康課題の共有、活動事業の展開の検討などを行っていく。



**問**

受付時間の短縮は市民サービスの低下も課題とのことだが、その点への対応は。

**答**

デジタル化の推進により、来庁せず、かつ時間を問わず手続きができる環境整備を進めていきたいと考えている。

**問**

カスタマーハラスメントへの対応マニュアルの整備が必要と考えるが、市の見解は。

**答**

対応マニュアルなどの作成が必要だと考えている。

**問**

人事評価制度において、業務のスクラップを評価する視点についての考えは。

**答**

行政改革や予算編成において、ゼロベースでの業務の見直しを求めるなど、改革・改善の取り組みを求めている。職員の取り組みが適正に評価されるよう、今後も着実に取り組んでいく。

